

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 21 日 (2021.1.21)

【公開番号】特開 2019-118721 (P2019-118721A)

【公開日】令和 1 年 7 月 22 日 (2019.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-029

【出願番号】特願 2018-2250 (P2018-2250)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

A 6 1 B 3/15 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/14 A

A 6 1 B 3/14 F

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検眼の瞳上において照明光が通過する投光領域と、被検眼の瞳上において前記照明光の眼底反射光が取り出される受光領域とを、互いに異なる位置に形成する、投受光分離手段、および、前記受光領域から取り出された前記眼底反射光を受光する受光素子、を備える撮影光学系と、

被検眼と前記撮影光学系との位置関係を調整する駆動部と、を備え、前記受光素子からの信号に基づいて眼底画像を取得する眼底撮影装置であって、
更に、

前記投受光分離手段は、被検眼の瞳上において互いに位置が異なる 2 つの投光領域を形成し、

被検眼と前記撮影光学系とのアライメントの基準となるアライメント基準位置として、前記 2 つの投光領域および前記受光領域の全部が被検眼の瞳孔領域内に形成されることを想定した第 1 基準位置と、第 1 基準位置とは異なる第 2 基準位置であって、前記受光領域と共に 2 つの前記投光領域のうち 1 つが、残り 1 つの前記投光領域よりも優先的に被検眼の瞳孔内に配置されることを想定した第 2 基準位置と、のいずれかを選択的に設定可能であり、設定した前記アライメント基準位置からのアライメントずれに基づいてアライメントを誘導する撮影制御手段、を備える眼底撮影装置。

【請求項 2】

前記撮影制御手段は、前記第 1 基準位置へアライメントを誘導する場合は、眼底画像を撮影する際に、2 つの前記投光領域のうち両方から前記照明光を眼底へ投光させ、前記第 2 基準位置へアライメントを誘導する場合は、眼底画像を撮影する際に、2 つの前記投光領域のうち、優先的に瞳孔内に配置される一方のみから前記照明光を眼底へ投光させる、請求項 1 記載の眼底撮影装置。

【請求項 3】

前記第 2 基準位置では、前記 2 つの前記投光領域のうち残り 1 つは、瞳孔外に配置される、請求項 1 又は 2 記載の眼底撮影装置。

【請求項 4】

前眼部観察画像を取得する前眼部観察光学系を備え、

前記撮影制御手段は、前記前眼部観察画像から取得される被検眼の瞳孔領域に関する情報に基づいて前記アライメント基準位置を設定する請求項 1 ~ 3 の何れかに記載の眼底撮影装置。

【請求項 5】

前記撮影光学系は、

被検眼の眼底上で照明光をスリット状に形成するスリット形成部、

スリット状に形成された照明光を、スリットに対して直交する方向へ眼底上で走査する走査部、更に有し、

前記投受光分離手段は、被検眼の瞳上において前記投光領域を、前記走査部の走査方向に関して互いに分離した 2 つの位置に形成すると共に、被検眼の瞳上において前記受光領域を、2 つの前記投光領域に挟まれるように形成する 1 ~ 4 のいずれかに記載の眼底撮影装置。